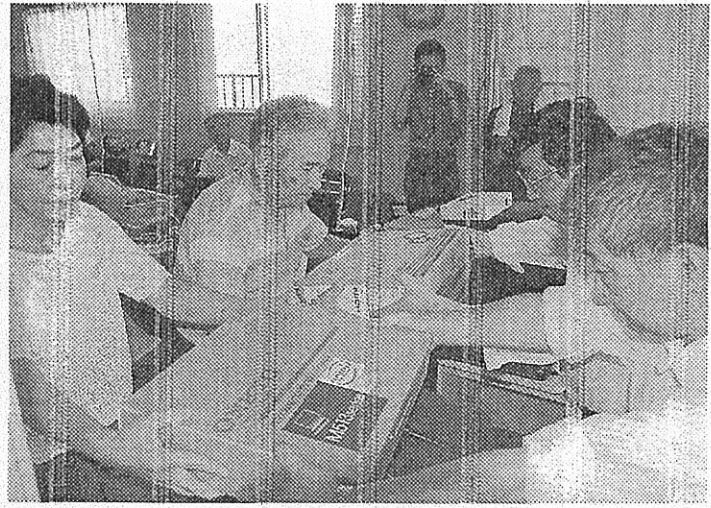


シニアネットにパソコン

～大船渡～

ICT支援応援隊が提供



していたパソコンも流され、困っている会員も多かった。

東京都の一般財団法人・ニューメディア開発協会は14日、大船渡市のパソコンクラブ「シニアネット・リアス大船渡」(及川純代表)に、ノートパソコン20台を届けた。

同クラブでは、約100人いる会員のうち20人ほどが被災。愛用

この現状を及川代表を通して知った同協会が、「何か支援をしたい」と大手電機企業の呼びかけで設立された「ICT支援応援隊」にパソコンの提供を要請した。

この日は、同協会新サービス産業創造グループの川村健三部長ら

会員にパソコンを手渡す同協会の川村部長ら
ら大船渡町

が同市大船渡町にある同クラブの事務所を訪問。はじめに贈呈式が行われ、会員の代表がパソコンを受け取った。

このあと、川村部長がパソコンの使用方法を説明。出席した会員12人は、川村部長の説明に耳を傾けながら、真新しいパソコンの操作方法などを確認していた。

同クラブでは、贈られたパソコンを事務所5台置くほか、会員が住んでいる仮設住宅の集会所に常設し、入居者が情報収集などに活用できるようにする予定。

及川代表は「大変ありがたい。仮設住宅の集会所に置く場合、インターネットの契約料が6000円ほどかかる。余裕のない会員が多いので、どうにかしてお金を工面していきたい」と話していた。